

はままつ文化サポート対象事業

実施団体名	東海道郷土研究倶楽部		
事業名	浜松幽玄舞台「犀ヶ崖」公演		
実施年月日	平成 25 年 8 月 24 日（土）～8 月 25 日（日）		
実施場所	浜松城内 松韻亭	実施回数	2 日間 2 回
入場料	前売り 2000 円／当日 2500 円		
事業内容	<p>2・18</p> <p>浜松を中心に活動する東海道郷土研究倶楽部の企画公演。地元浜松の市制 100 周年を経て、浜松の歴史と文化に脚光を当て、文化最先端都市浜松から世界に向けて独自の文化を発信していきます。神谷昌志監修のもと、前回作品「鶴姫」（※2012 年浜松市文化サポート事業認定）において浜松城の城主亀姫と家康の正妻鶴姫の家康を巡る愛憎劇を描き話題となった今井尋也の書下ろしによる今回の脚本は、徳川家康と武田信玄の合戦の物語。三方が原の合戦で苦しい生活を強いられた浜松の村人たちに次々と起こる不穏な出来事。ある夜、「犀ヶ崖」から亡霊たちの阿鼻叫喚が聞こえてくる。人々が声の主を探してやってくると、かつての激戦地「犀ヶ崖」に、無残にも散った信玄軍の亡霊が現れ、戦国時代の宿命と戦の世の無常を語りだす。村人たちは念仏踊りを踊り、戦の犠牲になった人々を供養し平和な世を祈念する。戦国時代の悲劇を豪華キャスト・演奏家によって上演します。迫力と美しさを奏でる邦楽（小鼓・琵琶・箏）と能楽の地謡、国内外のミュージカル等で活躍する浜松出身のダンサー「BABLE」、同じく静岡出身でロンドンで活躍中のダンサー「織田きりえ」が、邦楽とコンテンポラリーダンスのコラボレーションを実現します。また、衣装にも浜松出身で地元で活躍する森口寛子を迎え、洋と和、古と今が融合したオリジナルデザインの衣装が舞台を盛り上げます。公演場所には浜松城城内の松韻亭の庭園を犀ヶ崖の借景に見立て、ダイナミックに空間と時間を演出します。浜松の歴史を紐解き、浜松を舞台にした物語と邦楽、そして浜松を代表するダンサーのしなやかで優美な動きが見事に調和する舞台を創造します。</p>		
波及効果	<p>本公演によって、浜松市の文化発展・振興に寄与するとともに、邦楽とコンテンポラリーダンスという二つの異なる文化が融合し生まれた全く新しい文化様式を浜松から世界に向けて発信する。本公演に出演するプロの邦楽演奏家の高度な演奏を通してバイオリンやピアノ等西洋音楽で有名な浜松市という都市の文化イメージに邦楽を含んだ新しい一面を創造する。浜松の歴史的な題材を作品化することにより全国に向けて浜松の歴史・文化の豊かさを伝えることができる。</p>		
事業費総額	816000		
助成金額	298000		